

# 旭川市立陵雲小学校

指定年度：H30～  
児童数：489名

## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

### ① 教育理念や経営方針の浸透～教職員や保護者、地域住民との目標の共有化～

「社会に開かれた教育課程」の理念に基づいた本校の教育の在り方について、教職員や保護者、地域住民が共有し、地域とともにある学校づくりを一層効果的に進めることができるよう、学校と保護者、地域住民との連携を強化した。

ランドデザインの策定に当たっては、教職員の参画はもとより、学校運営協議会における協議及び承認の場の設定を行い、保護者や地域が求める子どもの資質・能力等を顕在化した。

また、年度始めには、作成したランドデザインを学校だよりを通じて保護者や地域住民に公表した。



(学校だよりを通じたランドデザインの公表)

### ② 協働意識の高揚～校務分掌を工夫した組織体制の確立～

学力向上や不登校等の学校課題の解決に向けた取組を一層推進することができるよう、校務分掌間の連携を強化するための校務運営委員会や校務分掌の枠を越えたプロジェクトチームを設置した。

学力向上の取組については、研修部と授業改善推進チームの教諭とが連携し、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善や全国学力・学習状況調査及びチャレンジテストを活用した取組等を推進した。

また、不登校の解消に向けた取組については、校長のリーダーシップの下、関係教員で組織したチームを編成し、児童の欠席状況、家庭での学習や生活の状況把握、学習のサポートや心のケア、保護者との連携等について、組織的かつ計画的に取り組んだ。

### ③ コミュニケーション～日常対話や面談の工夫～

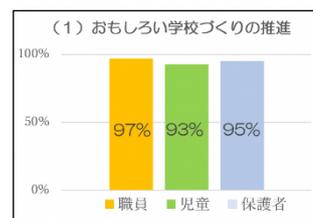
温かい人間関係を基盤とした職員室づくりやマンパワーを最大限に発揮することができるよう、目標の設定や成果等を確認する人事評価面談をはじめ、管理職による日常の授業観察を踏まえた授業づくりや学級経営に関する指導の場などを通じて、教員との意思疎通の深化に努めた。

## 2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

□学校経営の基本方針等について、保護者や地域住民と共有したことにより、年度の重点目標「おもしろい学校づくり」について浸透が図られ、その取組の推進について理解が得られた。

□校務運営委員会やプロジェクトチームの設置により、学校課題の解決の取組を進めることができただけでなく、校務分掌間の有機的な連携が図られ、短期間での取組の検証改善サイクルを確立することができた。

■日常対話や面談については、機会は設定することができたが、教職員の内発的な意欲や教育活動の質の向上に結び付く内容の工夫や充実が必要である。



(「おもしろい学校づくり」の推進)